

宮代町防犯のまちづくり推進協議会 第1回会議記録

◇日 時 平成27年6月24日（水）15：00～16：30

◇場 所 役場202会議室

◇出席者

委 員 上田悟、稲山實、戸邊靖之、毛塚悟（代理：岡田浩）、藤井宏美、
金澤文重（代理：飯山知美）、菅原弘美（代理：大西正洋）、吉田直子、西浦大治郎、
清水幸子（代理：足立有司）、倉島清隆（代理：鈴木良裕）、真中章、中川定雄、
鈴木武男（代理：鈴木康雄）、奥山隆浩、鬼山清、高柳英雄、横倉哲夫、西村茂久
以上19名
（欠席者：下川孝広）

事務局 高橋暁尋、長瀬昇之、田代宇隆、金子尚子

◇傍聴者 0名

◇会議概要

1. 防犯のまちづくり推進協議会について

⇒資料1に基づき、事務局より説明を行いました。

2. 最近の犯罪状況について

⇒杉戸警察署生活安全課長戸邊氏よりご説明いただきました。

〈犯罪情勢〉

- ・全刑法犯は前年に比べると減少している。
- ・宮代町では侵入窃盗が多い。
→侵入手口は多種多様である。窃盗犯は侵入に時間がかかるとあきらめる。侵入されにくいカギに取り替えるなど防犯対策に努めて欲しい。
- ・給湯器を盗む犯罪があった。
→屋外にあるものなので、ゾーンディフェンス（地域の力）で防いでいくことが重要である。
- ・犯罪には至らない子どもへの声かけ事案があった。

〈振り込め詐欺状況〉

- ・昔発行された学校の卒業生名簿を入手して電話をかけてくるようだ。
- ・名簿に掲載されているお宅に、集中して電話があるようだ。
- ・（防犯便り「ひまわり畑」を見ながら）日本年金機構職員等を名乗る者からの電話に注意して欲しい。

【質疑応答】

西村（須賀地区連絡会）：侵入窃盗を防ぐための対応策はどういうものがあるのか。

戸邊（杉戸警察署）：ポケットラジオの活用がある。外出するときは家の中でかけっぱなしにしておく。電池式のものなら防災上も安心である。周囲から見えにくい窓には、補助錠を取り付けるのも有効である。各家庭の防犯意識を高めることが大切である。

3. 町内自主防犯組織について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

4. 町実施事業について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

5. 防犯灯設置検討部会について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

6. 意見交換

奥山（セコム）	セキュリティ会社として地域の皆さまと連携していき、お役に立てればと思う。防犯についての相談事などあればいつでもご連絡ください。
鈴木（杉戸管内地域安全推進連絡協議会）	防犯灯が切れているものについて、地元でチェックしてもらいたい。
中川（地域安全パトロール隊）	平成15年8月に発足していらい、警察署と協力しパトロールを実施している。夜間（午後7時から9時）の活動である。高齢化が進んできているが今後も地域のため活動していく。
真中（商工会）	商工会として、防犯について協力していければと思っている。
足立（特別支援学校）	宮代特別支援学校では、宮代町外からも生徒がスクールバスで通学しており、地域の皆様に見守っていただいている。定期的に防犯研修を行っている。
西浦（宮代高校）	スマホについて、事件や事故に巻き込まれないよう、ルール作りをしている。また、講師を招いての危険ドラッグについての研修、交通安全教室を開催している。
岡田（百間小学校）	会議に参加して、学校が地域と密接につながっていることを改めて感じた。防犯についての町内での取り組みがよくわかった。
藤井（小学校代表PTA）	須賀小学校PTAでは、4月に通学路の危険箇所を確認している。保護者へ不審者情報を一斉メールで発信している。
飯山（中学校代表PTA）	百間中学校PTAでは、通学路の危険箇所を情報共有している。保護者は毎週水曜日に朝のあいさつ運動を実施している。
大西（幼稚園）	通園手段として、送迎バスの他、自家用車での送迎、歩いて送り迎えをされる方も多い。保護者向けの交通安全教室を行っている。
吉田（保育園）	送迎は原則保護者になっている。不審者対応として保育園で研修を実施してい

	る。犯人から子どもたちを守るような対応を日々想定して対応していかなければと思っている。
鬼山（姫宮地区連合会）	姫宮駐在所からミニ広報誌をもらい回覧をしている。道路交通法が改正されたこともあるので、最新の情報を地域で共有しなければと思っている。講習会の開催を検討している。
高柳（古利根地区連合会）	不審者は防犯灯の明かりや防犯パトロールが一番嫌だと思う。安心した町づくりのためがんばっていきたい。
西村（須賀地区連絡会）	地元自治会では防犯活動を積極的に始めて3年目になる。高齢化の中で人員の確保が課題になっている。各家庭の防犯意識を高めることが重要だと思っている。
横倉（駅西口連絡会）	地域には学生のアパートが建っており、道路に学生が通ることで、防犯の効果があり助かっている。
稲山（副会長）	地域安全パトロール隊の一員である。毎日各グループ別に5～7名で回っている。全域を車で回ると3時間はかかる。
上田（会長）	防犯灯は、防災の面からも非常に役立つものだと思っている。防犯灯が樹木等で暗くならないようにしなければいけない。